

市立総合福祉会館がより省エネな施設に ESCO 事業で実施 ZEB Oriented の第三者評価取得

◎写真あり

市立総合福祉会館（ラポールひらかた）の省エネ改修工事を ESCO 事業として実施。令和 7 年 8 月に本市で初となる ZEB Oriented の第三者評価（BELS 評価）を取得し、3 月に工事を完了した。

同館の改修については、今後の施設の維持管理の効率化を図りつつ、環境負荷の低減や光熱水費の効果的な削減を実現する「ESCO 事業」を令和 6 年度末に契約し、設計、工事を進めてきた。

既設公共建築物の ZEB 普及率は全国的にも極めて低く、市では、枚方市役所 CO2 削減プランの取り組みとして「市有建築物の省エネ化」を掲げており、新たに市有建築物を整備する際には原則 ZEB Oriented 相当以上としている。

★本 ESCO 事業は、省エネルギー改修にかかる初期投資を市で行い、ESCO 事業者が市に対して省エネ効果を保証することで光熱水費を削減するもの。市立総合福祉会館 ESCO 事業は、令和 6 年度に東テック株式会社を最優秀提案者に選定し、令和 7 年度に省エネ改修（右図参照）の設計施工を進めてきた。8 月には設計内容の省エネ性能について、既設の公共施設としては本市で初となる ZEB Oriented の第三者評価を取得した。熱源を水冷から空冷ヒートポンプチラーに変更し、試運転では安定的に熱源機を稼働している。

提案項目	
1.	熱源機の高効率化
2.	受変電設備の高効率化
3.	照明 LED 化
4.	誘導灯 LED 化
5.	空調設備廻りの外気取入れ量の最適化
6.	空調設備および換気設備廻りの搬送動力の低減
7.	熱源設備廻りの搬送動力の低減
8.	給湯設備の高効率化
9.	プール設備の搬送動力の低減
10.	太陽光発電の採用
11.	中央監視の BEMS 化

枚方市立総合福祉会館 ESCO 事業の改修内容

★BELS とは、建築物の省エネ性能の評価に特化して日本国内で初めて統一された評価の指標で、建築物の省エネ性能を★(星の数)で評価するもの。ZEB（ネット・ゼロ・エネルギービルディング）とは、ゼロエネルギーの達成状況に応じて 4 段階の ZEB シリーズを定義しており、ZEB Oriented とは、年間の一次エネルギー消費量を基準値より 30% 以上削減した、延べ面積 10,000 m²以上の建築物を指す。

★枚方市立総合福祉会館（ラポールひらかた）は、障害者、高齢者等に対する福祉サービスの充実を図るとともに、市民の福祉活動を促進することを目的とした総合的な福祉施設。研修室などの貸室、温水プール、福祉図書コーナー、高齢者・障害者のデイサービスなどを備えている。

<お問い合わせ>

- ・枚方市立総合福祉会館（ラポールひらかた）及び ESCO 事業全般に関すること

枚方市 健康福祉部 健康福祉政策課

☎ : 072-841-1369 FAX : 072-841-2470 メールアドレス : kenkousoumu@city.hirakata.osaka.jp

- ・ESCO 事業の改修内容に関すること

枚方市 都市整備部 施設計画課、施設整備課

☎ : 072-841-1486 FAX : 072-841-4607 メールアドレス : shisetsukeikaku@city.hirakata.osaka.jp

☎ : 072-841-1488 FAX : 072-841-4607 メールアドレス : shisetsuseibi@city.hirakata.osaka.jp

- ・枚方市役所 CO2 削減プランに関すること

枚方市 環境部 環境政策課

☎ : 050-7102-6009 FAX : 072-849-1206 メールアドレス : kankyoseisaku@city.hirakata.osaka.jp



枚方市立総合福祉会館（ラポールひらかた）の外観



太陽光発電設備のうち蓄電池
の設置状況（地下1階電気室）



空冷ヒートポンプチラー
の設置状況（建物南側外部）



BELS 第三者評価